

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成31年 3月 25日

事業所名：レインボーキッズメソッド4(つばき)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%	0%	0%	公園など外出を加えて環境づくりを行っている。	87%	13%	0%	0%	子どもの感覚がわからない。	
	2 職員の適切な配置	100%	0%	0%		75%	25%	0%	0%		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%	0%	0%		87%	13%	0%	0%	隣の建物が飲食店や事業所内にキッチンスペース(熱源、刃物等の危険物)が気になる。	特性の理解をするために、アセスメント等を行いながら、児童の様子を見ながらスタッフ間で協議を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	0%	100%	10%	休憩スペースやカウムダウン室を設置するなどしている。	0%	100%	0%	0%		継続した環境づくり。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	0%	100%	0%	今回初めて行う。	/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0%	100%	0%		/	/	/	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%	0%	0%	内容の改善、見直しが必要である。	/	/	/	/		現場のスタッフの意見なども参考にしながら、継続して法人内の学習会の実施や外部研修への積極的な参加を呼び掛ける。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%		87%	13%	0%	0%		継続して、利用者さんや相談員さんと協力して作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	0%	100%	0%	レクリエーションカレンダーを配布するなどしている。	0%	100%	0%	0%		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%		/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	0%	100%	0%		0%	100%	0%	0%		事業所間の情報共有。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	100%	0%	0%		/	/	/	/		
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%	0%	0%		75%	25%	0%	0%		
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100%	0%	0%	スケジュールを立て、見通しを持てる工夫を行っている。	/	/	/	/		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%	0%	0%	児童が利用する前に朝礼をしている。	/	/	/	/		情報共有の手段を確実にできるような取り組み。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	33%	67%	0%	時間によっては行えない場合がある。	/	/	/	/		情報共有の手段を確実にできるような取り組み。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%	0%	0%		/	/	/	/		定期的なスタッフ間の情報共有と管理者を中心とした振り返りを行える環境づくりを行う。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100%	0%	0%	モニタリング後などに内覧したり、ミーティング等で確認できるようにしている。	/	/	/	/		計画書の重要性を改めて考え、子どもの成長を第一に考える支援体制の確立。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	67%	33%	0%		/	/	/	/		外部機関への働きかけを行っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	0%	100%	0%		/	/	/	/		今後の検討課題。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	33%	67%	0%							今後の検討課題。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	33%	67%	0%							積極的に会議への参加を申し出て、自己発信をしていくなかで関係機関等と協力できる体制を整えていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	0%	100%	0%	まだない。						今後の検討課題。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	100%	0%	0%	会社として研修等の情報伝達を行っている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	67%	33%	0%		63%	37%	0%	0%		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0%	100%	0%							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100%	0%	0%		100%	0%	0%	0%		継続して丁寧な関わりを持てるようにスタッフ全体で共有していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	0%	100%	0%		0%	100%	0%	0%		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	33%	67%	0%		0%	100%	0%	0%		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	100%	0%	0%	連絡帳や送迎時に引き継ぎ等を行いながら、気になることがあれば伝えたり聞いたりするなどしている。	87%	13%	0%	0%	送迎時など保護者と会話する機会を大事にし、日頃から全スタッフが情報交換できるようにしている。
	5	100%	0%	0%		100%	0%	0%	0%	
	6	33%	67%	0%	今後、行っていく予定。	0%	63%	25%	12%	
	7	100%	0%	0%		38%	50%	0%	12%	マニュアルを作成し、適切な流れの中で迅速に対応を行う。
	8	100%	0%	0%		87%	13%	0%	0%	子ども一人一人違うということをわかったうえで、伝え方を工夫し、それを一貫性を持って関わられるようにしていく。
	9	67%	33%	0%		50%	38%	0%	12%	個人情報の取扱いについての配慮を徹底し発信していく。
	10	100%	0%	0%	課題である。個人情報の取り扱いについての意識付けを会社全体で定期的に伝えて徹底する必要があると感じる。	87%	13%	0%	0%	定期的な学習会、ミーティング等を行ってスタッフの意識を高く維持できるようにしていく。
非常時等の対応	1	0%	100%	0%	無いものもあるので用意していく。	63%	25%	0%	12%	委員会を設置し、委員や担当を中心に全体に伝達しながら周知できるようにしていく。
	2	33%	67%	0%	今後行う予定。	25%	50%	13%	12%	定期的な防災訓練の実施。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	33%	67%	0%	現在、取り組んでいる。					委員会の設置と学習会の中で、事例検討することでスタッフの意識改革を行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	67%	33%	0%						
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	0%	100%	0%						
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%	0%	0%						委員会の設置、事業所内だけではなく、会社全体として情報共有を行い、再発防止と事故につながらないようにしていく。